

現業協だより No.8

自治労福島県職連合現業協議会 2019. 12. 12

2019 賃金確定交渉が終了！現場の声は一切聞かない

2019 年賃金確定交渉が終了しました。現場の声、組合員一人一人の思いをぶつけ、県民生活の向上のために、時代にあった政策の提言をしましたが、結果は何一つ良い回答はなく、現場で働く職員のこと、県民のことよりも、どこか違う方を見ているという印象が非常に強く残った交渉でした。さらには、法律に基づいた労使交渉であることを全く認識していない、不誠実な回答が多々あったため、関係機関と協議のうえ今後の取り組みを強化していきたいと考えています。

賃金については、職員の高齢化・非正規職員の増加に伴い業務の負担が増えている状況であるので、現場の組合員が奮起するように、今ある制度で可能な賃金改善や実損回復を訴えましたが全く前進しませんでした。

人員については、職場からいただいた声を公所ごとに具体的な人数を提案しましたが、時代に合わないアウトソーシング実行計画の推進を理由に良い回答はありませんでした。さらには、道路パトロール業務については東日本大震災の検証結果や自然災害の増加により、県民の安心・安全が脅かされており、直営より高い委託費を払ってわざわざ民間に出す業務ではない。それを知った県民は納得しない。誰のための民間委託なのかを強く訴え、きちんと話し合いができる場を作るように要求しました。文書による申し入れを進めています。

再任用賃金についても、技能労務職員は3月31日と4月1日では業務内容が変わらないので、職務給の原則から賃金は同じではないのか。制度が合わないので制度を変えて欲しい。せめて賃金の算定率を非現業の方と同じ支給率にして欲しいと要求しましたが、当局は制度なので無理という回答に終始しました。

来年以降も、現場の声、組合員一人一人の思いを一つでも多く集め、現場がきちんと100%機能するように、さらには県民が安心して暮らしていける社会を構築できるような運動の強化につなげ、さらなる組織強化と交渉の進め方にあらためていきたいと思えます。非現業のみなさんを含め多くの組合員の取り組みへの参加をお願いします！！

第15回県職連合現業協議会定期大会が開催されます！

2020年1月11日(土)10時30分から福島市グリーンパレスで開催されます。今年一年の活動報告や来年の取り組み・役員体制を提案します。特に一年を通じた交渉の進め方やさらなる組織強化に向けた提案も予定しています。多くの組合員(専門員も含む)に参加をいただき、活発な意見交換等も行えればと思います。(裏面もあります)

編集後記

今年の確定交渉は、技能労務職員の採用や民間委託について多くの時間を割き、新たな技能労務職員の提案や直営より高い委託費について追及しました。これから人口の減少・税収の減少・AIの導入そして県民ニーズの増加が予想されています。状況が激変しているのに、民間委託が「良」で直営が「悪」というアウトソーシング実行計画にとられる事が本当に県民のためでしょうか？